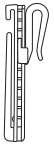
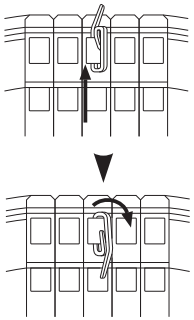
フックの種類

	オリジナルフック	川島織物セルコンのオリジナルのフックです。標準的な3つ山カーテン、2つ山カーテンに使用しています。(裏面参照)
	フラットカーテン用フック	川島織物セルコンのオリジナルのフックです。フラットカーテンとノンタックウェーブに使用しています。
	ギャザーテープ用フック	スモックタイプのギャザーテープに使用しています。 (サイズは左図の長さを参考にしてください)

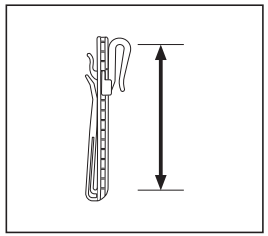
ギャザーテープ用フックの取り付け方法



ギャザーテープの袋に下側から差し込みます。

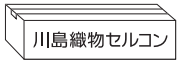
くるっと回転させます。

フックが破損したら

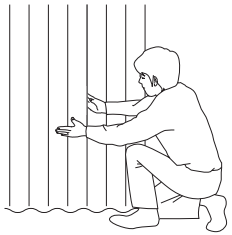


市販のフックでも代用できます。
差し込みの溝から引っかけ部の山までの長さが合うものをお求めください。

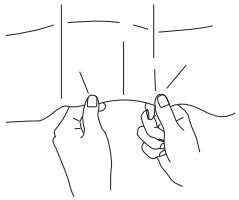
カーテン取り付け時のお願い



縫製したカーテンは、たたんでダンボールに梱包して出荷しています。

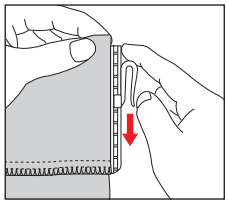


たたみのクセが残っていることがありますので、カーテンレールに取り付けたあと、ヒダを整えてください。
シワが気になるときはヒダに沿うように手早くアイロンやスチーマーをかけてください。



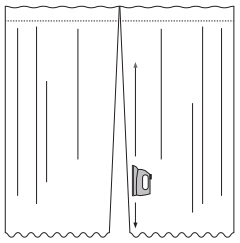
ヒダの形に合わせ、裾を軽く引っ張って形を整えてください。
タタミのクセが残っていると丈が短くみえることがありますが時間の経過で伸びて寸法が出るようになりますので、しばらく様子をみてください。

■カーテン丈の調整方法



約5mm単位で丈調整できます。
●丈を短くしたい場合
指先で軽くアジャストフックを押し下げて調節してください。
●丈を伸ばしたい場合、又はフックを下げすぎた場合
一旦アジャストフックを押し下げて取り外し、改めて上部からはめて調節してください。

■カーテンをしめて隙間が空く場合は



たたみのクセが残っていると、左右のカーテンを閉じたときに中央に隙間が空くことがあります。そのときは、幅方向に引っ張ってクセを伸ばしてください。もしくはお手持ちのアイロンやスチーマーで左右召し合わせ寄りのヒダ山を軽くおさえて調節してください。

株式会社川島織物セルコン

2025.5

KAWASHIMA SELKON

このしおりは大切に保管してください

カーテンのお取扱いについて

この度は当社のカーテンをお買いあげ頂き、誠にありがとうございます。
カーテンは美しく快適なお部屋の演出者。
ここにご紹介するお取扱いのポイントをご参考に、少しでも長くご愛用ください。

カーテンを
もっと詳しく

WEBでも
ご覧いただけます。

販売店様へ

この取扱い説明書は、店名・電話番号をご記入の上、必ずお客様へお渡しいただきます様お願い致します。

販売店名

お取扱いについてのご注意

カーテンの伸縮について

カーテンは生地の組成･組織やご使用環境（温度や湿度、開閉頻度等）によって伸縮することがあります。特に綿･麻･絹などの天然繊維やレーヨンを使用したカーテンでは湿度の影響で伸縮が大きく出るものもあります。アジャスターフックをご使用の場合は丈を調整してください。（表面参照）

カーテンのニオイについて

素材によっては吊ってしばらくの間固有のニオイがするものもあります。
無害で人体への影響はありません。又、時間と共に徐々に薄れてきます。
気になる場合は換気をしてください。

カーテンの汚れについて

カーテンの汚れは、ほとんどが空気中のホコリの吸着です。その他には、タバコのヤニやダイニングキッチンでの料理の時に発生する煙等がありますが、いずれも、時間が経つほど落ちにくくなります。普段から汚れが残らないようにする工夫と適度なお洗濯が必要です。

（普段のお手入れ）　生地を傷めないよう軽く掃除機をかけるか、もしくはカーテンを軽くふりはたくなどして、こまめにホコリを落としてください。上部はホコリがたまりやすいので適宜おこなってください。尚、掃除機の使用に当たっては、吸込み口の汚れにご注意ください。

（適度なお洗濯）　目安として、ドレープカーテンは年に1回程度、レースカーテンは年に2回程度のお洗濯をお勧めします。お洗濯は「取り扱い絵表示」に従ってください。

（汚れがついたら）　汚れが付着した際には、即座に拭き取ってください。時間の経過と共に除去しにくくなります。汚れが広がらないように注意してください。又、メンテナンスの際には、塩素系･還元系漂白剤、カビ取り剤、トイレ用洗剤、消毒剤等は使用しないでください。変色･色落ちの原因となります。

結露に対して

結露水にカーテンが触れないように注意してください。
カビの発生や汚れの原因となります。

年数の経過したカーテンについて

紫外線等の影響により繊維が劣化･破断し、開閉時等に粉状に舞うことがあります。
人体への影響はありませんが、カーテンの交換をお薦めします。

火気厳禁

火気を近づけないでください。火災の原因となります。
※防炎カーテンは燃えないものではありません。
　火気には十分ご注意ください。

誤飲について

フックやランナー等の小さな部材を取り外した際は、お子様のお手の届かないところに保管してください。

ぶら下がらないでください

カーテンには、ぶらさがらないでください。
カーテンが破れたり、レールが落下する場合があります。

ご家庭での洗濯の際のご注意

洗濯の前に縫い付けの取扱い表示をよくご確認ください。

1.洗濯機を使用する場合

- ホコリをよく払って、フックを全部取り外してください。
- 予洗されることをお勧めします。
- 一度にお洗濯するカーテンの枚数は1～2枚までとし、あまり多く詰め込むことは避けてください。
- 洗濯用ネットのご使用をお勧めします。
- 水量は「最大」にします。
- 水流は「弱」にします。
- 水温は40℃以下で行ないます。
- 洗剤は市販の中性洗剤、または弱アルカリ洗剤をご使用ください。
- ご使用の洗剤に記載されている使用方法を参考にしてください。
- 洗剤が残らないよう、充分にすすいでください。
- 脱水は短時間（20～30秒）でおかけください。
  かけすぎるとシワや型くずれの原因になります。
- 横型ドラム式洗濯の場合は取扱い説明書をご確認ください。

2.手洗いをする場合

- もみ洗いを避け、押し洗いまたは振り洗いをします。
- 脱水機にかけずに、押し絞りしてください。

3.つけ置き洗いをする場合

※汚れのひどい時にはつけ置き洗いをすると効果的です（ご家庭でお洗濯できるものに限ります）。

- 水温は30℃～50℃で行ないます。
- つけて置く時間は、30分～60分が適当です（ご使用の洗剤に記載されている使用方法を参考にしてください）。
- 再汚染を防ぐためにも、予洗をお勧めします。

4.乾燥方法

- カーテンを吊っていた元のレールに戻し、吊ってそのまま自然に乾燥させるのが最適な方法です。その際、水滴で濡れないよう、床にタオルや新聞紙を敷いてください。
- 屋外で干す場合は必ず陰干しにしてください。
- レールに吊った後、全体を軽く下に引っ張り、寸法を合わせます。更に全面を手で叩くと、乾いた時にある程度シワを防止できます。
- 乾燥機の使用は縮みの原因となりますので、お避けください。

洗濯表示ラベルに形態安定加工品とある商品は形態安定加工を行っています。
洗濯後はカーテンレールに掛けた状態で、ヒダを整え乾かすようにしてください。
（アイロン不可、スチーム不可、乾燥機使用禁止）
シワが目立つ場合は、スチームなしでごく低温（120℃以下）のアイロンを手早くお掛けください。但し、低温であっても一箇所に長くアイロンを掛けるなどすると、場合によってはウェーブ加工を損ないますので十分ご注意ください。
※形態安定加工のため、出荷時に高さ調整をアジャストフックで行なう場合があります。

5.クリーニング店に出す場合のご注意

- フックはカーテンからはずしてください。
- カーテンの寸法と取扱い表示について双方で確認してください。
- 丈縮みや形態安定加工くずれの防止のため、乾燥時の取扱い温度には十分注意してもらってください。
- 特に注意を要するカーテンの場合は、念入りに洗い方を確認してください。
  例:　*コーティング、ラミネートカーテン（裏に特殊な加工をしている生地）
  　　*モール等特殊な糸を使用したカーテン
  　　*ケースメントや目の粗いレースカーテン
  　　*特殊プリント品……等

6.年数の経過したカーテンについて

薄地や顔料プリント品などで年数が経過したものは、洗濯時にかかる力で糸の脆くなったところが切れたり、プリントが薄くなったりする場合があります。洗濯機で洗える表示であっても、手洗いなど生地への負担を抑えた方法での洗濯をお勧めします。

取扱い表示の見方

JIS L 0001（繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法）より

洗い方

液温は、40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。

液温は、40℃を限度とし、手洗いによる弱い洗濯処理ができる。

洗濯処理はできない。

漂白

酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。

漂白処理はできない。

乾燥（干し方）

洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。

日陰での吊り干し乾燥がよい。

アイロンの掛け方

底面温度120℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。

底面温度160℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。

アイロン仕上げ処理はできない。

業務クリーニング

石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンで弱いドライクリーニングができる。

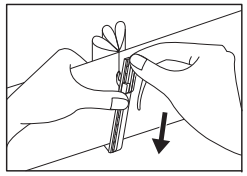
ドライクリーニング処理はできない。

弱いウェットクリーニング処理ができる。

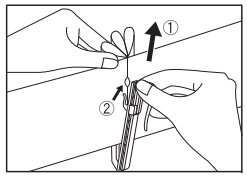
非常に弱いウェットクリーニング処理ができる。

ウェットクリーニング処理はできない。

■洗濯時のフックの取り外し・取り付けについて (オリジナルフック)



●取り外し方
軸ごと下へ抜き取る



●取り付け方
フック本体を差し込みながらL字型の突起を小さな穴に差し込む

芯地の前だおれ防止の突起がついています。

安心してタッセル(カーテン留めひも)をご使用いただくためのご案内

⚠ 警告

タッセル(カーテン留めひも)が体にまきついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
小さなお子様のいらっしゃる場合には特にご注意ください。

一般社団法人 日本インテリア協会